



Well-being Report 2025

三菱ケミカルグループ わたしたちの健康白書

ご挨拶

私たち三菱ケミカルグループのPurposeは、革新的なソリューションを通じて、人、社会、そして地球の心地よさが続く「KAITEKI」の実現をリードすることです。その原動力となるのは従業員皆さんの一人ひとりの力です。私たちは、多様な人材の持つ力を最大化する環境づくりを進めています。

心身ともに健康であることは、皆さんが仕事を通して活躍し、充実した人生を送るための基本であり最も重要な土台です。人生100年時代を迎えた今、長く元気で過ごすためには、日頃から自分自身の健康に目を向け、健康を維持・増進するための行動を選び、実践することが大切です。

三菱ケミカルグループの健康経営では、「健康的な生活習慣」「こころの健康」「働きやすい環境」の3本柱を中心に、グループ共通の方針・プロセス・システムの下で、皆さんの健康をサポートしていきます。“一人ひとりが、心身ともに健康で、いきいきと働き、やりがいと幸せを感じている”、そのような姿を目指します。

私たちは、従業員の皆さんが「この会社に入ってよかった」と心から思える会社を目指しています。自分の健康は自分で守り育てる、そして健康的な環境づくりに積極的に参画するという気持ちで、共に健康で活力あふれる三菱ケミカルグループを築いていきましょう。



2025年10月
チーフヒューマンリソースオフィサー
田中 真彦

健康宣言

私たち三菱ケミカルグループは、
革新的なソリューションで、人、社会、そして地球の心地よさが続いていく
KAITEKIの実現をリードしていきます。
その原動力は、従業員一人ひとりが、心身の健康を保ち、いきいきと働くことです。
私たちは、自らが健康であることに努めるとともに、
皆が働きやすい環境をつくることで、一人ひとりのWell-beingを高め、
組織と人の活躍の最大化に取り組んでいきます。

三菱ケミカルグループの健康経営

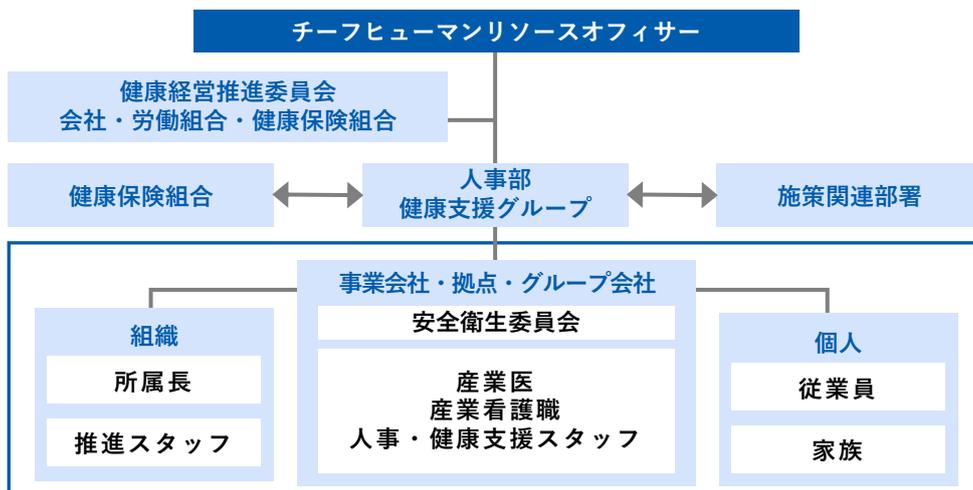
定義

三菱ケミカルグループのPurpose実現を担う従業員一人ひとりのWell-beingの向上を
健康の側面から支援して組織と人の活躍を最大化する取り組み

基本方針

- 私たちは、Purpose実現に向けて、自らが健康であるように努めます。
- 私たちは、一人ひとりが自らの力を最大限に発揮して
いきいきと働くことができる職場づくりを進めます。

推進体制



健康経営の取り組み 概要

取り組みの3本柱

健康的な生活習慣

- ・健診結果に基づく適切な行動
- ・保健指導
- ・重症化予防
- ・がん検診促進
- ・禁煙 運動 睡眠 食事の改善 等

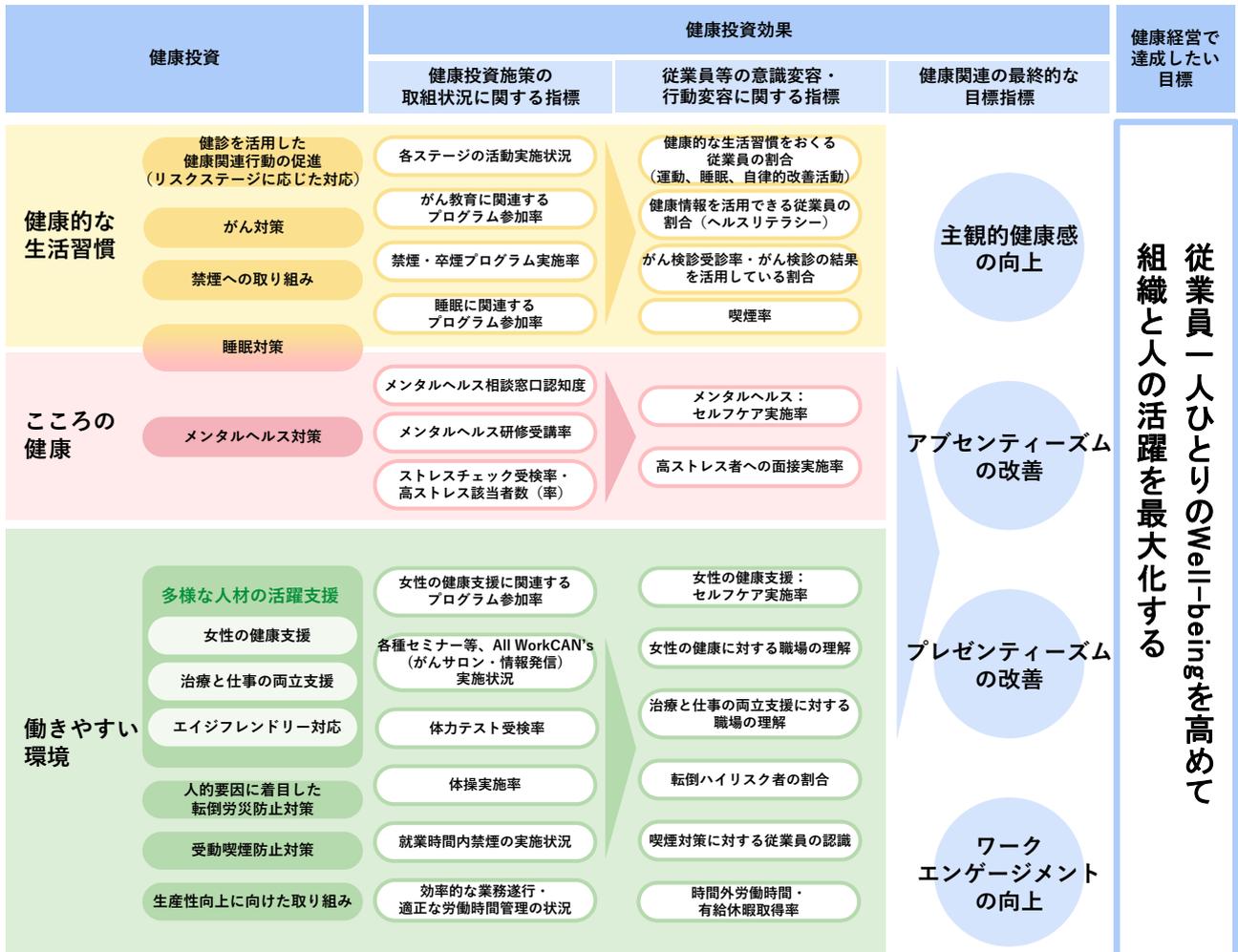
こころの健康

- ・メンタルヘルス不調者への就業支援
- ・ストレスマネジメント力の向上
- ・セルフケア
- ・ラインケア 等

働きやすい環境

- ・多様な人材の活躍支援
女性の健康支援、両立支援、エイジフレンドリー
- ・転倒労災防止
- ・受動喫煙防止
- ・化学物質管理
- ・労働時間管理
- ・ワークライフバランス
- ・コミュニケーション促進 等

戦略マップ



健康経営の取り組み 概要

三菱ケミカルグループでは、安全衛生管理体制の整備や健康診断・ストレスチェック実施など、健康・衛生に関する我が国の各種法令等を積極的に遵守するとともに、従業員の心身の健康の保持・増進及び働きやすい環境づくりを支援する活動に取り組んでいます。

また、健康保険組合とも連携・協働(コラボヘルス)し、従業員のプライバシーの保護を十分に行った上で個人や職場の現状をより正確に把握し健康課題の抽出と効果的・効率的な改善施策を推進しています。

三菱ケミカルグループの健康経営では、「健康的な生活習慣」「こころの健康」「働きやすい環境」を3つの柱として掲げ具体的な施策を進めており、これら3つの柱を推進するための基盤となる活動として、以下に示す「みんなの健康モニタリング」や「健康情報ガーデン」に取り組んでいます。また、2024年度より重点施策として「睡眠対策」「女性の健康支援」「安全対策・エイジフレンドリー対応としての転倒労災防止対策」「自律的化学物質管理」を定め、取り組みを強化しています。

みんなの健康モニタリング

従業員の生活習慣や健康意識、職場での施策の浸透状況を年1回の社内調査で把握しています(回答率92.2%)。調査結果は、従業員や職場の健康状態を正確に理解し、課題を明確にして戦略を立てるための基礎情報として活用しています。

2024年度から重点施策として取り上げている「睡眠」については、睡眠の「時間」と「質」の設問を新たに追加しました。さらに、これまで十分に調査できていなかった「食事」に関する項目も新設し、従業員の実態をより正確に把握できるよう、設問の見直しを行っています。

また、調査結果を社内イントラ上で従業員に公開し、各自が自身や職場の健康について考えるきっかけとしても活用しています。

健康情報ガーデン

従業員にむけて、「健康に働く」ことを目指すための様々な健康情報(動画・リンク集)を“健康情報ガーデン”として社内イントラ上で公開しています。

サイト内では毎月、季節にそった健康情報を発信しています。具体的には、生活習慣の改善(アルコール・禁煙・感染症・睡眠)や、こころの健康(セルフケア・ラインケア)に関する情報を提供するほか、女性の健康支援、がんに関する情報、エイジフレンドリーに関する内容などの情報を発信しています。

また、健康保険組合のホームページへのリンクなど、社内外の関連情報も集約化し、従業員が自分自身や職場の健康づくりに自主的に取り組める環境を目指しています。

自律的化学物質管理

2023年4月に労働安全衛生法関係法令が改正され、新たな化学物質管理制度（自律的化学物質管理）が導入されました。

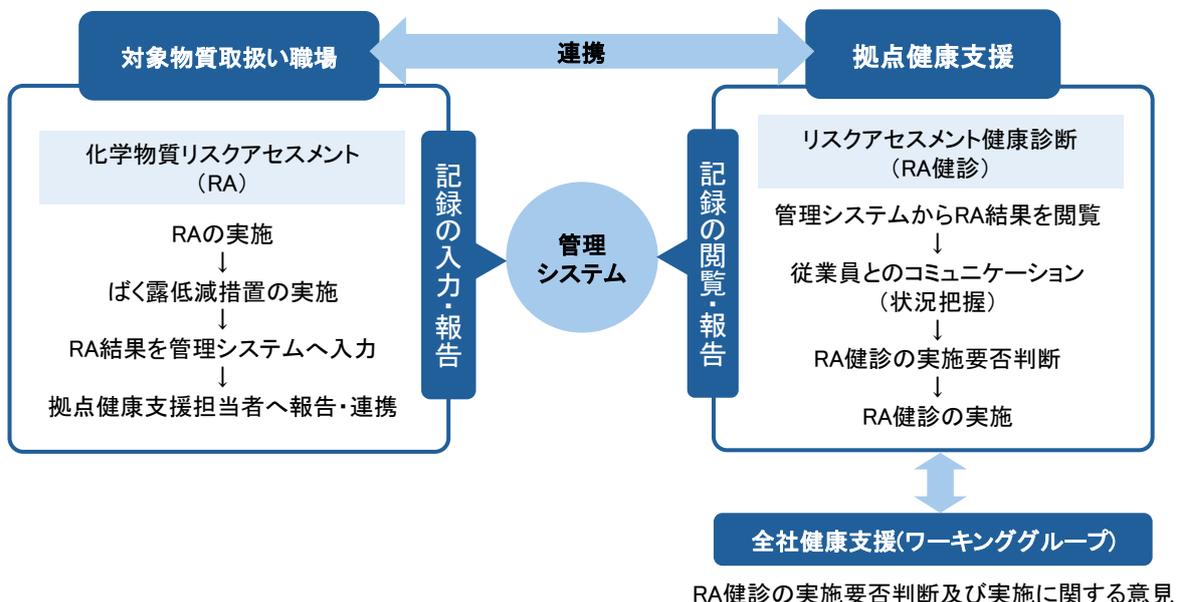
三菱ケミカルは化学産業に携わるメーカーとして、環境負荷の低減および生態系を含む環境の保護、また、労働安全の確保は企業の社会的責任であるとの認識のもと、行政情報を収集しながら、プロダクトステewardシップ・品質保証部、環境安全部、人事部健康支援グループが連携して、自律的な化学物質管理の体制構築、運用整備に取り組んでいます。

私たちは自律的な化学物質管理の全体像として、大きく3つのポイント①化学物質リスクアセスメント（以下RA）結果の全社一元化、②RA結果の長期保存、③リスクアセスメント健康診断（RA健診）実施要否判断の迅速かつ効率的対応を掲げています。この3つのポイントを実現するために、健康支援部門と環境安全部門が連携し、新たな管理システムの構築を進めています。

さらに、RA健診については、製造・研究拠点と本社の産業医・産業看護職・健康支援担当がワーキンググループを組み、「化学物質の取り扱いに起因した健康障害を一人も出さない」というミッションのもとで検討・企画を行っています。

2024年は、RA健診の実施および化学物質管理者・保護具着用管理責任者の選任が法令により義務化されたことを受け、拠点健康支援担当者・拠点環境安全部・現場・従業員が一体となり、十分なリスクコミュニケーションを図りながら、RA健診の適切な実施要否判断と記録保存を確実にを行う体制の構築に努めました。また、厚生労働省「リスクアセスメント実施事例集」に掲載された事例を活用し、SDSおよびリスクアセスメントツール（CREATE-SIMPLE）を用いた、実践的かつ実運用に即した形式での勉強会を実施しました。

2025年は、新たに導入された管理システムの円滑な活用に向け、記録保存の説明・共有を行うとともに、RA健診の精度管理を目的とした拠点から全社への健診要否判断結果の報告を実施しています。今後は、実施事例の収集とその水平展開をさらに進めていきます。



健康的な生活習慣

健診を活用した健康行動の促進

健康ステージに応じた健康行動の促進

三菱ケミカルグループでは、従業員一人ひとりが自分の健康状態を把握し、自律的に健康行動をとることができるようになることを目的とした取り組みを進めています。

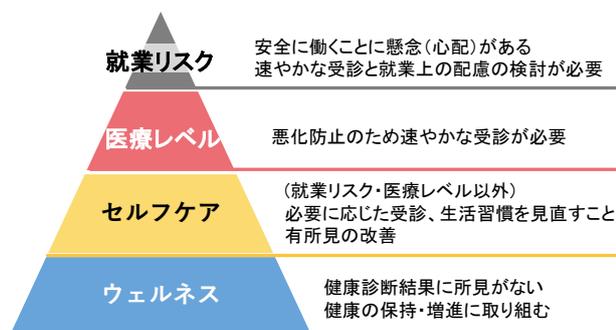
その一環として、健康診断結果を基にした**4つの健康ステージ**を設定し、各ステージに応じて従業員の健康行動を促進・支援しています。

この4つの健康ステージのうち「就業リスク」「医療レベル」に該当するステージでは、安全に安心して働けるよう、会社が積極的に介入支援を行っています。社内基準に基づき、必要に応じて関係者と連携しながら、従業員の自律的な健康管理を支援する体制を整えています。

4つの健康ステージすべての従業員に対し、「健康診断の結果を上手に活用し、より健康的な生活習慣を身につけること」を目指し、「健康診断結果を受け取ったら」というテーマを含めた生活習慣関連の情報動画を“健康情報ガーデン”で発信しています。

また、健康保険組合では、ホームページやポータルサイトを通じて、食事・運動、オーラルケア、病気・治療などの情報提供やクイズ形式のイベントを実施し、従業員の“知りたい”ニーズに応えています。

4つの健康ステージ



健康的な生活習慣

健診を活用した健康行動の促進

運動習慣/ウォーキングイベントの開催

三菱ケミカルグループでは、健康保険組合と協力して、従業員が健康を意識し自ら行動するためのきっかけづくりに取り組んでいます。

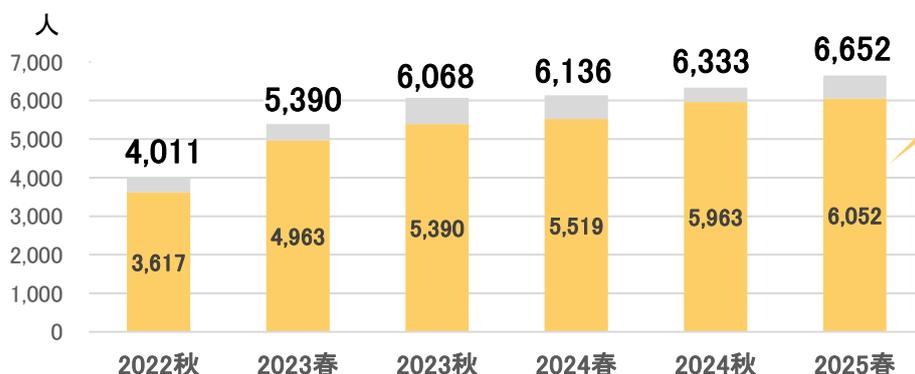
中でも毎回多くの従業員とその家族が参加する「ウォーキングキャンペーン」は、楽しみながら健康づくりに取り組める人気のイベントです。回を重ねるごとに参加者が増えており、「キャンペーンをきっかけに歩く習慣が身についた」「会社の仲間のがんばりに刺激を受けてウォーキングを続けられた」といった前向きな声が多く寄せられています。

また、2023年より生活習慣の記録やe-learningの受講に対するポイント制度を導入し、自発的に行動を変え健康度を向上させるためのモチベーション維持をサポートしています。



ウォーキングキャンペーン
ポスター

ウォーキングキャンペーン参加者数の推移



平均1日
4,000歩
達成者

健康的な生活習慣

がん対策

三菱ケミカルグループと三菱ケミカル健康保険組合は、がん対策推進企業アクション(厚生労働省委託事業)の推進パートナーとして、従業員向けのがん教育(がんの学校)やがん検診の受診啓発を行っています。

2023年度からは、健康保険組合による人間ドックやがん検診(胃・婦人科等)の費用補助を増額するなど、受診しやすい環境づくりにも取り組んでいます。

また、“みんなの健康モニタリング”を活用して、「がん検診に係る従業員の認識」や「受診をためらう理由」などの従業員の声、実際のがん検診の受診率を把握しています。

会社と健康保険組合が連携しながら、これらの情報を今後のがん対策推進に役立てると共に、従業員一人ひとりが積極的な一歩を踏み出せるよう支援していきます。



三菱ケミカルグループにおける がん対策推進基本計画

めざす姿

- (1)従業員:自分の健康に関心を持ち、自らがん対策に取り組む
- (2)会社 :がん対策推進を通して、従業員を守り、がんになっても安心して働ける職場づくりを実現する

3つの目標

- ①生活習慣の改善に取り組む従業員を増やす
- ②がん検診の受診率を向上する
- ③受診後に適切な行動をとることができる従業員を増やす

従業員一人ひとりが積極的な一歩を踏み出せるよう支援します！

1 次予防

がんの予防行動を支援

2 次予防

がん検診のきっかけ作り

受けやすい環境整備

3 次予防

受診後の適切な行動を支援

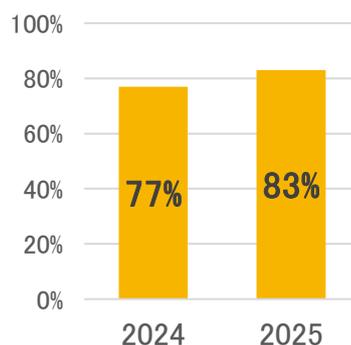
健康的な生活習慣

禁煙・受動喫煙防止対策

三菱ケミカルグループでは、本社をはじめ全拠点で「勤務時間内禁煙」が実施されています。この取り組みは、受動喫煙による健康リスクをすべての職場からなくし、誰もが安心して快適に働ける環境づくりを目的として、2020年4月にスタートしました。2025年度の“みんなの健康モニタリング”でも、83%の従業員が取り組みについて「知っている」と回答しており、多くの関係者、特に喫煙者の方々のご理解とご協力のもと、グループ共通の規律・文化として定着しつつあります。

勤務時間内禁煙のルール導入以降、多くの喫煙者が禁煙に取り組み、現在三菱ケミカルグループの喫煙率は24%となっています。「健康に良くないことは分かっている」「できることならやめたい」人には禁煙サポートサービスを提供し、禁煙へのチャレンジを支援しています。

三菱ケミカルグループで推進している禁煙・受動喫煙対策に関する取り組みを知っている人の割合



健康的な生活習慣

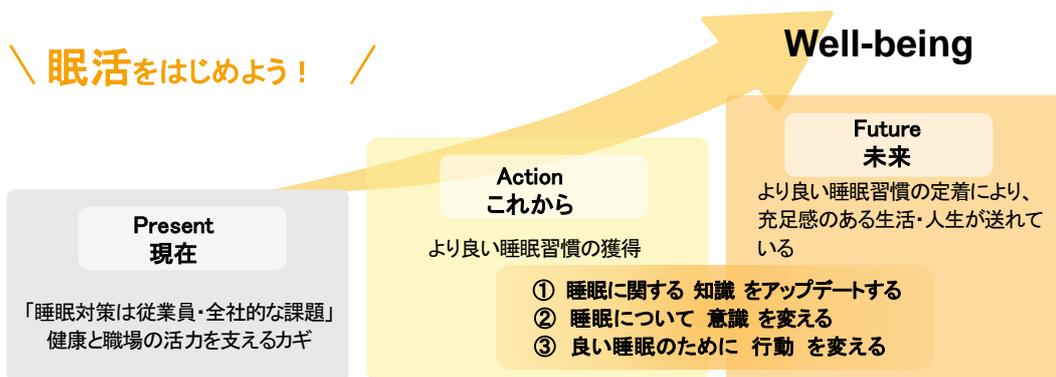
睡眠対策

2023年度の“みんなの健康モニタリング”の結果、従業員の約4割が睡眠に不満を感じていることが明らかになりました。さらに、睡眠満足度と主観的な健康状態には相関があることがわかりました。自身の健康状態が業務に影響していると回答した従業員の中で、最も多かった理由が睡眠不足であったことも踏まえ、2024年度より「睡眠対策」を重点施策として取り組んでいます。

睡眠対策のめざす姿

2024年度は、めざす姿を設定し「眠活※を始めよう」をキャッチフレーズに、活動を開始しました。

※ 眠活＝より良い睡眠のために意識&行動を変えること



眠活の推進

キックオフとして開催した「睡眠セミナー」には、アーカイブ視聴を含め多くの従業員が参加しました。アンケートでは、参加者の54%が「1か月以内に良い睡眠に関する取り組みを開始する予定」と回答しており、知識をアップデートすることに加え具体的な行動変容への意欲が高まっていることが伺えました。

参加者の声(アンケートより抜粋)

「日々の睡眠不足を自覚できていなかったため、自身の体を無意識のうちに痛めつけていることに気づかされました。」

(40代・常昼勤務)

「交替勤務をしているため、夜勤前の睡眠の取り方について取り組みたいと思っています。」

(50代・交替勤務)

・オンライン参加者数: 741名

・アーカイブ配信視聴回数: 519回

・セミナー参加者満足度: 98%

また、情報発信として、社内イントラに眠活サイトを立ち上げました。このサイトでは、多様な職種や働き方に対応できるよう、様々な睡眠関連情報や“みんなの健康モニタリング”の結果などを掲載し、従業員への情報提供を行っていきます。

2024年度に実施した睡眠の基礎知識セミナーからさらに一歩踏み込み、具体的に睡眠を改善するための実践的なセミナーや、従業員の睡眠習慣改善を支援するイベントを継続的に開催していく予定です。

拠点の取り組み 中日本事業所



睡眠セミナーの開催

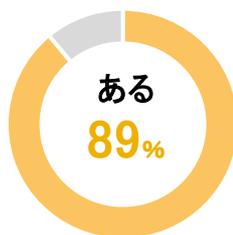
中日本事業所では、快眠のポイントを知り、実際に取り入れられるきっかけ作りを目的とし、睡眠セミナー（動画の展開・快眠グッズ配布）を実施しました。動画は、ポイントを短時間にまとめ、交替勤務者など多くの従業員が視聴できるよう工夫しました。

また、快眠グッズ（入浴剤・ホットアイマスク等）を受講者へ配布し、自分に合う方法を見つけ気軽に生活に取り入れてもらうよう呼びかけました。受講者からは「快眠を取るためのポイントがコンパクトにまとまっていて理解しやすかった」「グッズも活用したい」「短時間の動画で理解できた」といった声が寄せられました。



睡眠セミナーの動画

■動画を視聴し、睡眠の質を向上させるために取り入れられそうなこと



ある 464人
なし 56人

取り入れられそうなこと（複数回答可）

- 1位: カフェインの摂取のタイミング・量に気をつける
- 2位: 就寝前のスマホの使用を控える
- 3位: 適度な運動

メンタルヘルスケア

セルフケア/ラインケア

三菱ケミカルグループでは、こころの健康を健康経営の3本柱の一つに位置付けています。一次予防〈メンタルヘルス不調の未然防止〉、二次予防〈メンタルヘルス不調の早期発見と適切な対応〉、三次予防〈職場復帰支援〉のそれぞれに取り組んでおり、特に一次予防に力を入れています。

2021年度以降、継続的に学べるメンタルヘルス研修(e-learning)を毎年実施しています。セルフケア研修では「ストレスに気づき、ストレスの原因を見つけて、他者に相談する方法」を学び、ラインケア研修では「日頃から部下の様子を観察し、話を聴き、適切に専門家へつなぐ方法」を学習します。

また“ストレスチェックによる気づき”を“適切なセルフケアに活かせるよう”、ストレスチェックとメンタルヘルス研修(セルフケア)を同じ時期に実施しています。研修から6か月後に実施した“みんなの健康モニタリング”では、64%の従業員が「ストレスチェック結果をセルフケアに活かしている」と回答しており、研修での学びが従業員の行動につながるよう引き続き支援していきます。



相談窓口の周知

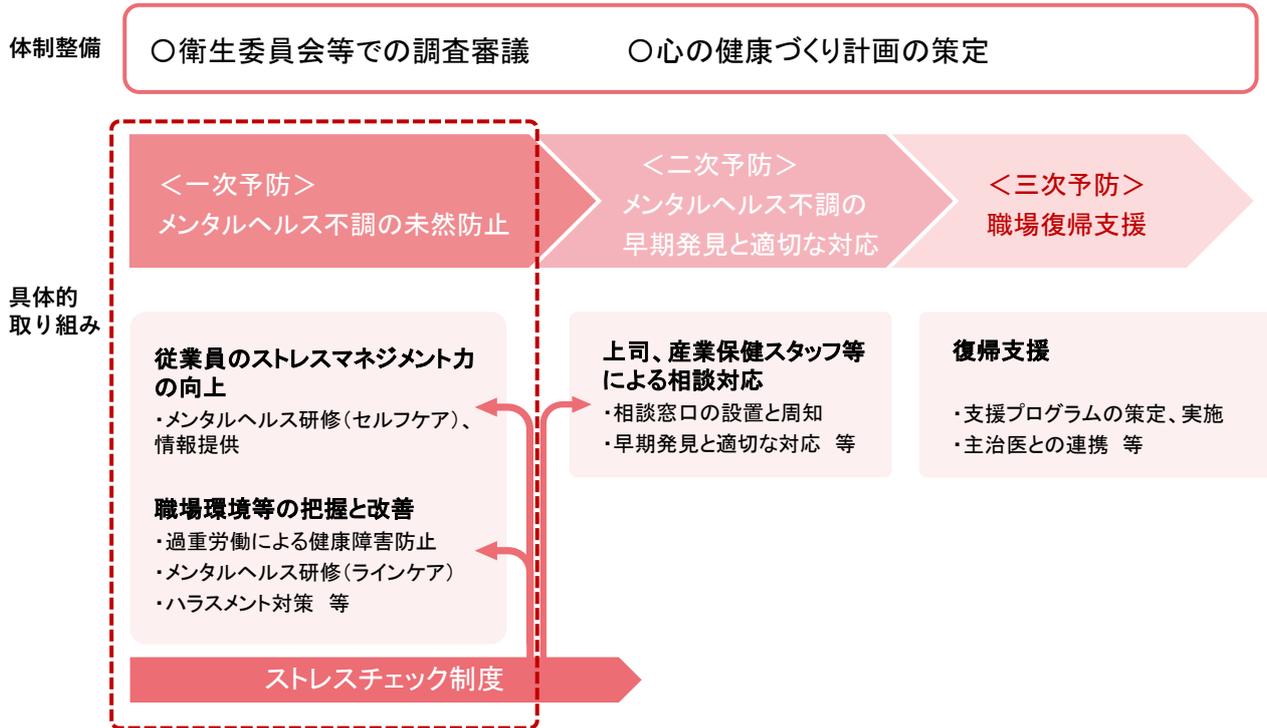
従業員が気軽に健康相談を行うことができる社内相談窓口を拠点ごとに設置しています。衛生委員会や社内イントラで体制や連絡先などを周知し、状況に応じて産業医や産業看護職などが対応・支援を進めています。

さらに、従業員や家族が外部専門家に相談し各自の健康管理に活用してもらうことを目的に、2023年4月より三菱ケミカルグループ共通の社外相談窓口も健康保険組合と協働し設置しています。グループ各社に勤務する従業員や派遣社員、その家族は、専門の相談員による面接、オンライン面談、電話カウンセリングを利用できます。社内の相談窓口と合わせて広く周知し、相談したいときの選択肢を増やすことで、メンタルヘルス不調の未然防止、早期発見、適切な対応につなげています。



こころの健康

三菱ケミカルグループにおけるメンタルヘルス対策の体系



働きやすい環境

女性の健康支援

三菱ケミカルグループでは「女性の健康支援」を重点施策の一つに掲げ、職場全員が女性の健康への理解を深め、誰もがいきいきと活力高く働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

社内調査結果を踏まえ、女性自身がセルフケアに取り組めるよう支援するとともに、職場における女性の健康への理解がより深まることを目指し、3段階のステップに分けて施策を実施しています。

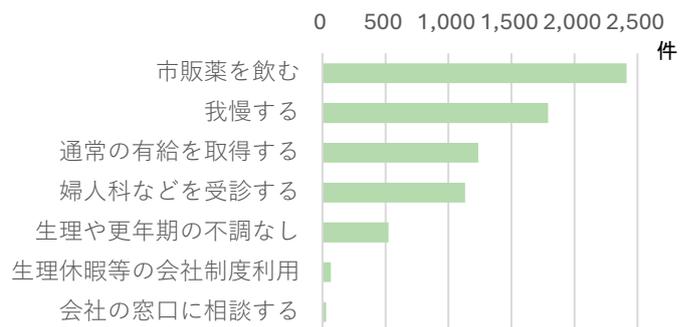
2024年度は【まずは「知る」から始めよう】を第一ステップの目標に掲げ、女性の健康施策の重要性や健康課題への理解を深めるために、社外の女性医師によるオンラインセミナーを開催しました。また、セミナー実施後に、全従業員に対して女性の健康理解に関するe-learning(受講率87.1%)を実施することで知識の定着を図っています。

その他の活動として、社内イントラ上での女性の健康に関する情報公開、オフィスで実施できる運動セミナーを実施し、理解を行動に移すステージへつなげています。また、各拠点でも、以下のような女性の様々なライフステージを支援するための取り組みが行われています。

- ・男女ともに参加できる更年期に関するセミナーの開催
- ・女性のがん検診の受診率向上の工夫(巡回型の婦人科検診実施等)

今後もこのような取り組みを続け、社内の定期調査を通して状況を把握しながら、女性を含むすべての従業員のWell-beingの向上を支援していきます。

女性の健康課題への対応(複数回答)



STEP3 あなたの「アクション」を続けよう

- 職場が、女性の健康課題に対して理解し対応して誰もが働きやすい職場になっている
- 女性自身が、健康管理を維持することができ、いきいきと働くことができる

STEP2 一歩、前に踏み出そう

- 全従業員が、女性の健康課題に対して理解して、適切なサポートができる
- 女性自身が、自身の健康管理のために必要な行動をとることができる

STEP1 まずは「知る」から始めよう

- 全従業員が、女性の健康支援に企業が取り組む必要性、社会的な課題、女性の健康課題とその対応について正しく理解することができる
- 女性自身が、自身の健康管理のために必要な知識を知ることができる

“健康情報ガーデン”
での情報提供中



拠点の取り組み 香川事業所・西日本支社・中部支社・R&D大阪



4拠点合同開催 更年期セミナー

女性特有の健康課題への理解促進と、すべての従業員が働きやすい職場環境の構築を目指し、男女の更年期に焦点を当てたセミナーを4拠点合同で開催しました。

本セミナーでは、男性にも更年期があることを明確に提示し、男女が互いの更年期について理解を深めることが、より良いサポート体制の構築と誰もが働きやすい職場の実現につながることを、更年期と性ホルモンの関係に着目し、男女の性ホルモンの働きの違い、女性の更年期と比較した男性更年期について解説しました。

アンケート結果からは、参加者が自身の健康状態への理解を深め、男女それぞれの更年期の相違点と共通点を学ぶことができたことがわかりました。

この取り組みが、相互理解に基づく女性の健康支援、ひいては働きやすい職場の実現の一助となることを期待しています。



拠点の取り組み 小名浜工場



女性従業員による「女性の健康 意見交換会」の開催

三菱ケミカルの小名浜工場で【まずは「知る」から始めよう】の取り組みとして、全女性従業員（派遣社員を含む）を対象に「女性の健康」に関する対面方式での意見交換会を実施しました。

担当の産業看護職による講話に続き、参加者全員で意見交換を行い、月経時や更年期の過ごし方、それらと仕事との両立、婦人科検診など女性同士でも普段は余り話題にしない事柄について自らの経験を踏まえ率直に語り合うとともに、医療機関や補助申請の方法などに関する情報を共有しました。

終了後のアンケート結果からは、「女性の健康管理について知る機会になった 93%」「このようなディスカッションにまた参加したい 87%」と好評であったことが伺え、女性の健康管理の大切さだけでなく、同じような悩みを抱える人がすぐ近くにいることを知る貴重な時間となりました。



テキスト



意見交換会の様子

働きやすい環境

治療と仕事の両立支援

三菱ケミカルグループでは、病気になっても安心して治療と仕事が両立できる職場環境づくりを推進しています。2025年度の“みんなの健康モニタリング”では、83%の従業員が、治療と仕事を両立させたい仲間をサポートし合う職場環境があると回答しており、この取り組みが着実に浸透していることがわかりました。

治療と仕事の両立をさらに支援するため、2023年度より、「がんと就労を支援する活動(All WorkCAN's※1)」を三菱ケミカルグループ全体に拡大して展開しています。

All WorkCAN'sは「がんサロン※2」と「従業員による従業員のためのがん教育」の2本柱を中心に進めており、2024年度からは「WorkCAN'sアンバサダー(通称:CANバサダー)※3」と会社が協働で運営を開始しました。CANバサダーとともに、当事者だからこそ届けられる声を活動に織り込んで発信しています。

オンラインがんサロンの参加者は、グループ会社にも広がっています。また、この取り組みは社外からも注目を集め、メディアでも取り上げられました。



※1 「Work(働く)×Cancer(がん)の経験」=CAN(できる)を意味した造語であり、がん患者の就労を支援する一般社団法人CSRプロジェクトの許可を得て使用している

※2 がんに影響を受けている方々が、日ごろ抱えている想いを分かち合い、工夫や困りごとをシェアするための「つながりの場」

※3 がん経験者でピアサポート活動に関心を持ち協力する従業員

働きやすい環境

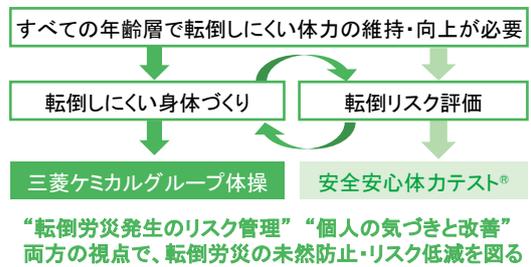
人的要因に着目した労働災害対策およびエイジフレンドリー対応

三菱ケミカルグループでは、国内および社内で分類上最も頻繁に発生する「転倒災害」に対して、従来の設備改善や作業手順の見直し、各種教育に加えて、「人の運動機能」に着目した対策を進めています。具体的には「三菱ケミカルグループ体操」により「転倒しにくい体づくり」を進め、「安全安心体カテスト」で「転倒リスク」を客観的に評価し、安全で健康的な日々を継続することを目指しています。

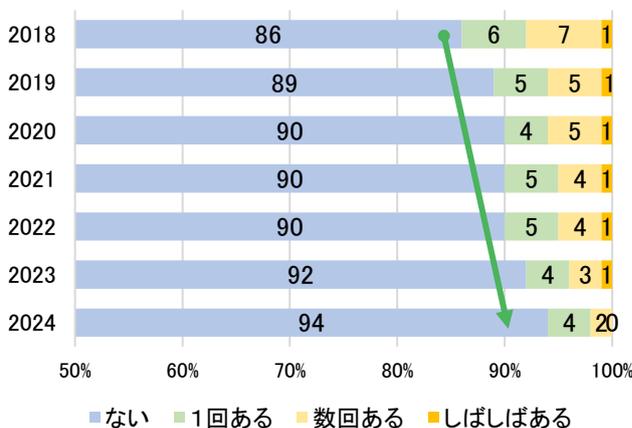
三菱ケミカルでは2017年に取り組みを開始して以降、問診結果では過去1年間の転倒経験が年々減少傾向していることが示され、また体カテストの結果でも転倒ハイリスク者の減少傾向が認められています。効果が可視化されたことから、国内のみならず海外グループ会社にも三菱ケミカルグループ体操を展開しています。これらの取り組みが評価され、厚生労働省主催の2024年度 第3回「SAFEアワード」において、「安全な職場づくり」部門の最高ランクである「ゴールド賞」を受賞しました。

また、三菱ケミカルグループ体操の正しい実施方法を学べる講演会を企画、その動画を全社で共有したり、安全安心体カテストをより安全に実施できるよう評価基準を変更するなど、適宜見直しを行いながら継続的に実践しています。今後グループ全体で、安全対策とエイジフレンドリー対応の観点から、すべての年齢層が「転倒しにくい身体」を作るための取り組みを一層強化していきます。

三菱ケミカルグループにおける転倒労災防止対策の概要



過去一年間の転倒経験者の割合



9割以上が「転倒していない」と回答し、改善傾向

SAFEアワード「安全な職場づくり」部門
ゴールド賞を受賞



拠点の取り組み 関東事業所(平塚)



日EUシンポジウムプログラム 視察団受け入れ

関東事業所平塚地区は、2025年7月に厚生労働省とEU代表団による日EUシンポジウム公式プログラムの視察を受け入れました。本視察は、2024年度に三菱ケミカルグループが「SAFEアワード」ゴールド賞を受賞したことを受け、シンポジウムの今年のメインテーマ「安全で健康的な労働環境のために」に見合った企業訪問先として選定され実現したものです。

現場視察では、三菱ケミカルグループの安全対策および転倒労災防止対策等について紹介し、安全の基本行動や段差の注意喚起・高年齢作業者のリスク対策のほか、熱中症対策についても実際の作業環境を見ていただきました。特に関心の高かった三菱ケミカルグループ体操・安全安心体力テストについては活発な質疑が交わされ、視察メンバーにも体操を体験していただきました。



生産性向上に向けた取り組み

三菱ケミカルでは、組織と人の活躍を最大化する取り組みの1つとして、時間外労働の削減や休息の確保などを通じた生産性向上に関する取り組みを行っています。2025年度も前年度に引き続き、継続組織単位での業種・業態・勤務形態などの特性差を考慮し、それぞれの課題に応じて各組織で取り組みを推進するとともに、労働時間管理や日常業務に関する考え方を示した“効率的な業務遂行ガイドライン”を日本国内のグループ会社に共通展開しています。

三菱ケミカルの取り組み

長時間労働解消・年次有給休暇取得率向上への取り組み

正確な労働時間の把握のため、勤怠システムに業務で使用するコンピューターのログオン・ログオフ時刻を記録し、勤務実態と申告する労働時間に乖離が生じないようにしています。拠点に応じたそれぞれの課題解決に資する施策を展開することで総労働時間の短縮につなげています。また、リフレッシュ休暇制度^{※1}や計画年休^{※2}の設定などにより、従業員が休暇を取得しやすくなるよう努めています。加えて、まずは管理職自身が率先して連続休暇を取得することが、「連続休暇を当たり前にとれる」という慣習やマインドの醸成につながり、所属員による計画的な連続休暇の定着を促進するという趣旨から、特に管理職の従業員に対して、連続休暇の取得を推奨する取り組みも実施しています。さらに従業員の自主的な社会貢献活動を支援するため、ボランティア休暇（年5日）、ドナー休暇（必要な日数）も設けています。



※1 リフレッシュ休暇制度：年次有給休暇を連続して2日以上取得した場合、年次有給休暇取得日の翌営業日に付与する制度。年1日

（ただし、当年4月1日時点の年齢が満20、25、30、35、40、45、50、55歳、60歳の場合は年3日以内）

※2 計画年休：日勤者の年次有給休暇のうち、計画的に一斉取得する年休のこと。年3日以内

勤務時間インターバルの徹底

しっかりと休息を取り前日の疲労を翌日に持ち越さないため、また長時間労働による過労を原因とした健康リスクを回避するために「勤務時間インターバルガイドライン」を設定しています。従業員は終業から翌日始業までを11時間以上空けるよう努力することとし、勤務表でもインターバルが確保できているかどうかを簡単にチェックできるようにしています。



“つなぐ”が支える、みんなのWell-being

三菱ケミカルグループでは、KAITEKI Vision 35におけるキーワード「つなぐ」を掲げて様々な活動を推進しています。健康経営においても、従業員一人ひとりのWell-beingを高め、職場・地域といった仲間との絆を「つなぐ」活動を展開中です。KAITEKIな未来に向け、各拠点で広がる“つながり”の取り組みを、ぜひご覧ください。



岡山事業所の取り組み

2024年、岡山事業所は操業60周年を迎え、幅広い年代・立場の方が参加できる部署横断型のイベントを有志メンバーで企画しました。初対面同士でチームを作り、チーム戦のイベントを多数実施しました。参加者からは「普段関わりのない方とつながる良い機会になった」「知り合いが増え仕事での相談がしやすくなった」との声も多く、部署を超えたつながりを深め、事業所全体の一体感を高めました。

2025年は定期修理(定修)を事業所一体となって取り組むために、定修応援隊を結成しました。事業所内で応援メッセージを募り事業所各所に掲示しました。また最前線で工事に関わる部署の休憩中に出向き、疲労回復グッズとともに感謝と応援のメッセージを届けています。「気持ちが伝わって嬉しかった」「定修の疲れが癒された」といった声も届いており、引き続き2025年度もこの活動を続けていきます。



産業保健スタッフ会（神奈川支部）の取り組み

神奈川・関東エリアでの近隣事業場間では、一人で勤務している産業看護職同士のつながりの場、自主的なネットワークづくりを推進しています。

主な活動としては、研究所や製造現場といった近隣事業場間での見学会を企画し自拠点とは異なる事業場について知る・対話する機会を設け相談しやすい関係性を構築しました。さらに見学終了後も意見交換の場を継続するため、オンラインでの連絡会を定期開催し、他事業場の取り組みについて情報共有しています。

今後も気軽な相談の場としてつながりを持ちながら、専門職としての視野を広げる機会として活用していきます。

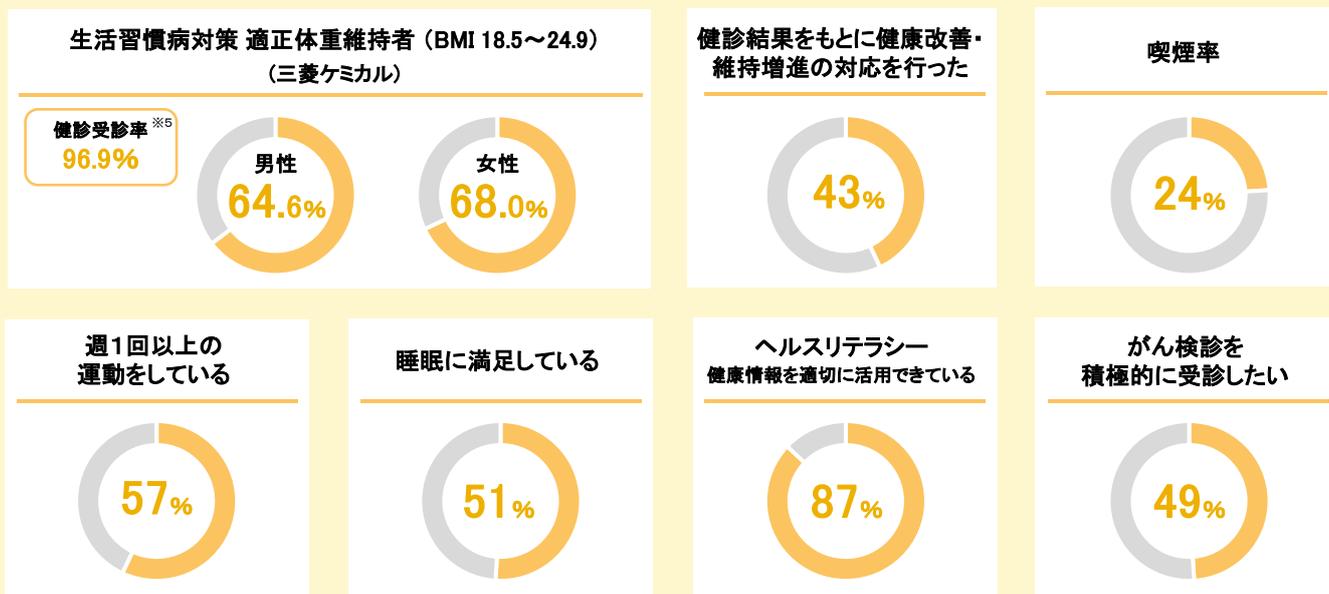


三菱ケミカルグループの健康経営に関する実績（2024年度）

● 健康関連の最終的な目標指標



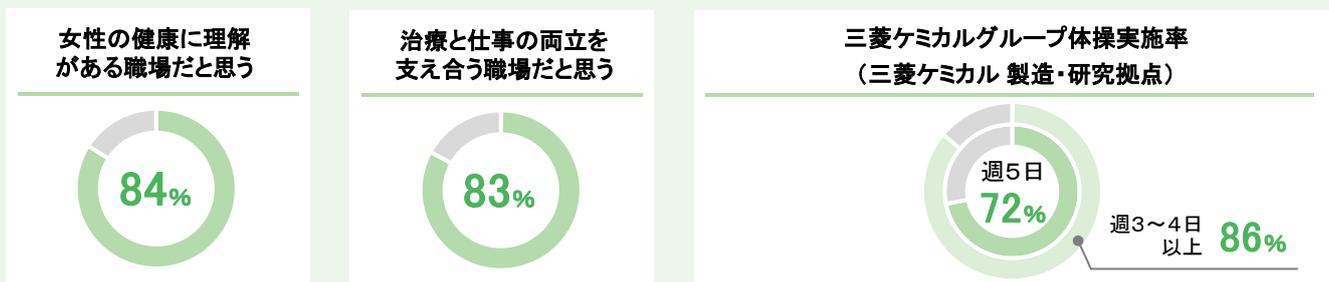
● 健康的な生活習慣



● こころの健康



● 働きやすい環境



※1 自身の健康状態が良い・概ね良いと認識している人の割合。
※2 過去1年間、病気や体調不良により7日以上以上の休業（有給休暇を含む）を必要とした割合。
※3 病気や怪我がないときに発揮できる仕事の出来を100%とした場合に、過去4週間の仕事の出来を80%未満と回答した割合。
※4 エンゲージメントサーベイ（グローバルを対象）における「持続可能なエンゲージメント」の好意的回答の割合。本結果は2022年・2023年・2024年の調査結果。
※5 健康管理システム移行に伴う一部データの取り込み遅延により、2024年度健康診断受診率は実際より低めに算出。

三菱ケミカルグループ株式会社

100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル
<https://www.mcgc.com>